

レベルⅠ -1

- ・新人セラピスト
- ・基本的な知識、技術、態度を理解し、指導を受けながら実践する
- ・チームメンバーとして、安全で一定の見守の下で業務が実践できる

- ※指導のポイント
- ・何かを判断するための経験を持たないことを理解する
 - ・個別療法を実践する上で客観的データに頼る、頼らせる
 - ・患者の局面の理解や断片的な判断から求める
 - ・原理原則に当てはめて指導する

-2

- ・一定の患者を独立して個別リハビリテーションを実践できる
- ・臨床評価実習の指導ができる

- ※指導のポイント
- ・個別療法にて客観的データの分析、指導を受け分析結果をまとめる
 - ・マニュアルの徹底、患者の全体像の理解や全体的な判断を求める
 - ・原理原則から、指導を受け応用的な判断を促す

構成要素	項目	到達目標
臨床実践能力	知識・技術	指導下、基本的な技術を用いて個別療法が実践できる-1 一定の患者に個別療法が実践できる-2
	判断	マニュアル確認、指導下で必要なリハ判断、決定できる
	基本姿勢 倫理	患者権利・当室倫理綱領を理解し、指導下で倫理面に配慮できる-1 上記の配慮に加え行動できる-2
	コミュニケーション	患者および家族、医療従事者とコミュニケーションできる 他者の意見を尊重し、自分の意見を伝えることができる
役割遂行能力	役割・責任	指導下、メンバーとしての行動ができる-1 一定の環境においてメンバーとして行動できる-2
	リスクマネジメント	マニュアル確認、指導下で安全確認行動が実践できる-1 各種の報告書が作成できる-2
	安全管理 感染管理	感染管理の基本である標準予防策が理解できる-1 上記を指導下で行動でき、急変時対応が理解できる-2
	経済性	指導下、コスト意識の下で業務が実践できる 指導下、一日・週間スケジュール立案、計画的実践できる
教育・研究能力	自己教育	個別療法を振り返り自己学習、文献を参考にできる 上記に加え、臨床見学実習が指導できる-1 上記に加え、臨床評価実習が指導できる-2
	研究	指導下、個別療法を通じ自己課題を見出すことができる 都道府県区分の学会等で発表する

レベルⅡ

- ・一人前セラピスト
- ・科内における専門的知識と経験を生かし、リハビリテーション過程を展開し、個別療法が安全に実践できる
- ・チームの一員としてメンバーシップが取れる
- ・特別例を除き、幅広い対象に個別療法を実践できる
- ・新任から経験4年までの現任、総合臨床実習生の指導ができる

※経験6年以上の既卒者は、レベルⅡからスタートする条件を持つが、面接や経歴にて判断する（判断は、理事長・院長に相談の上、当室室長とする）

- ※指導のポイント
- ・ある程度の経験から、客観的データ分析の上で個別療法を実践する
 - ・計画的に立てたゴール設定、それに向けたプログラムを実践する
 - ・科内で起きうる事態に概ね対応できる

構成要素	項目	到達目標
臨床実践能力	知識・技術	根拠に基づき個別療法を安全・確実に実践できる
	判断	適切なリハ判断、決定できる 退院支援、地域連携に必要なリハ判断できる
	基本姿勢 倫理	担当患者の倫理的問題に気づき、配慮した行動ができる
	コミュニケーション	患者および家族、他職種とのコミュニケーションができる
役割遂行能力	役割・責任	チーム一員としてメンバーシップ発揮した行動ができる チームリーダーを補佐できる
	リスクマネジメント	事故発生を予測し、安全確認行動が実践できる
	安全管理 感染管理	急変時の対応が実践できる 感染経路を理解し、適切な対応が実践できる
	経済性	コスト意識の下で業務が実践できる 業務の最優先を理解し、その上で一日・週間スケジュール立案、計画的実践できる
教育・研究能力	自己教育	院内外研修の積極的参加、文献を活用できる プリセプターの役割ができる レベルⅠのセラピスト、臨床総合実習を指導できる
	研究	自己のリハに対して積極的に取り組むことができる 地方区分の学会等でケース発表する

レベルⅢ

- ・ 中堅セラピスト
- ・ 知識と経験を統合させた幅広い臨床実践ができる
- ・ チームリーダーとしてリーダーシップが取れる
- ・ 一つの領域の各科セクションを担当できる
- ・ 模範的な臨床家であり、経験5年以上の現任の指導ができる

- ※指導のポイント
- ・ これまでの経験から、適切な理学療法の選択が実践できる
 - ・ 科内のマネジメント機能を担う
 - ・ 常に、局面ではなく全体把握が行なえる

構成要素	項目	到達目標
臨床実践能力	知識・技術	科内の特徴的知識を深め、個別療法に応用できる
	判断	状況に応じた適切なリハ判断、決定できる 退院支援、地域連携に必要なリハ判断、決定できる
	基本姿勢 倫理	担当患者の倫理的問題に対処できる
	コミュニケーション	患者および家族に必要なリハ情報を提供し、医療チームと円滑的コミュニケーションできる
役割遂行能力	役割・責任	指導下、与えられた範囲のリーダーとしての行動ができる
	リスクマネジメント	事故発生を予測し、安全対策行動が実践できる
	安全管理 感染管理	急変時を予測し、予防的対応が実践できる 感染拡大の要因を理解し、適切な対応が実践できる
	経済性	コスト削減の意識下、業務が実践できる 科内の業務を理解した上で、一日・週間スケジュール立案、計画的実践できる
教育・研究能力	自己教育	自己課題を明確に、キャリアプランを立案できる プリセプターラインをリーダー役割ができる レベルⅡのセラピストを指導できる
	研究	研究的視点で、リハに活用できる 臨床研究のテーマを持ち、専門性を確立する

レベルⅣ

- ・スペシャリスト
- ・習熟した臨床実践ができ、科内における役割モデルが取れる
- ・委員会活動や研究に参加するなどキャリア開発に主体的に取り組む
- ・模範的な臨床家の育成ができる
- ・一つの領域を担当できる

- ※指導のポイント
- ・分析的な原則に頼らず、経験から適切な行動が取れる
 - ・科内に生じる事態を直感的に把握し、問題点を絞ることができる
 - ・患者の状態を瞬時に整理し、客観的データに頼らずとも把握できる

構成要素	項目	到達目標
臨床実践能力	知識・技術	根拠に基づき患者の状態を把握し、的確な個別療法が実践できる
	判断	チームメンバーのリハ判断に対して助言・指導ができる 医療介護の動向を理解することができる
	基本姿勢 倫理	チーム内の倫理的問題の解決に向け、行動できる
	コミュニケーション	患者・家族およびチーム間の調整、連携のためのコミュニケーションができる
役割遂行能力	役割・責任	チームのリーダーとして行動できる
	リスクマネジメント	科内の事故防止に向けた取り組みが推進できる
	安全管理 感染管理	急変時の対応を指導することができる 科内の感染防止に向けた取り組みが推進できる
	経済性	病院経営に参画できる 科内での一日の業務計画を立案し、実践できる
教育・研究能力	自己教育	キャリア形成に向けて自己研鑽できる 模範的な臨床家を育てる
	研究	継続的に研究に取り組み、個別療法に活用できる 全国学会または専門領域で研究発表する

レベルV

- ・ジェネラリスト
- ・所属部署や医療チーム内での役割が発揮できる
- ・他職種と協同し部署内におけるリハビリテーションの調整的役割が取れる
- ・総合リハビリテーション室管理の補佐的役割が取れる
- ・副主任の指導ができる。
- ・所属長業務を代行することができる

構成要素	項目	到達目標
臨床実践能力	知識・技術	患者満足度を向上させるようなリハ提案、実践できる
	判断	所属部署職員のリハ判断に対して助言・指導できる 医療介護の動向を理解し、行動することができる
	基本姿勢 倫理	組織の倫理的問題の解決の推進役を果たすことができる
	コミュニケーション	所属部署の運営が円滑にとれるコミュニケーションできる
役割遂行能力	役割・責任	科内のリーダーとしての行動ができる 所属部署のリーダーとしての自覚、指導下で行動できる
	リスクマネジメント	所属部署の事故防止に向けた取り組みが推進できる
	感染管理	所属部署の感染防止に向けた取り組みが推進できる
	経済性	病院経営に貢献できる 所属部署内の業務の効率化のために改善、提案や職員教育を推進できる
教育・研究能力	自己教育	科内の発展に向け、計画的・継続的に学習できる 所属部署内の発展に向け、自己課題を見出すことができる
	研究	研究活動の継続、リハの質向上に貢献できる

レベルV (必須)

- ・所属長業務が遂行できる
- ・総合リハビリテーション室室長業務が代行できる
- ・主任の指導ができる

構成要素	項目	到達目標
臨床実践能力	コミュニケーション	組織外とのコミュニケーションができる
役割遂行能力	役割・責任	当室リハ普及に向けた地域活動を提案できる
教育・管理能力	自己教育	医療介護の動向を把握し、当室発展に貢献できる
	研究	他職種と協同し、研究活動やその指揮できる